

# **豊後大野市における介護保険事業の状況**

**令和4年10月  
高齢者福祉課**

# 1.人口構造の推移

## 豊後大野市

	2005年 (H17年)	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	2020年 (R2年)	2025年 (R7年)	2030年 (R12年)	2035年 (R17年)	2040年 (R22年)	2045年 (R27年)
人口 (人)	41,548	39,452	36,584	33,812	31,001	28,321	25,870	23,482	21,170
15歳未満 (人)	4,779	4,333	3,826	3,413	3,002	2,694	2,408	2,178	1,981
15歳～40歳未満 (人)	8,731	7,984	6,909	5,916	5,190	4,612	4,175	3,741	3,375
40歳～65歳未満 (人)	13,358	12,407	10,874	9,581	8,509	7,778	7,172	6,264	5,385
65歳～75歳未満 (人)	6,823	5,771	6,027	6,343	5,432	4,344	3,529	3,532	3,635
75歳以上 (人)	7,794	8,949	8,869	8,559	8,868	8,893	8,586	7,767	6,794
生産年齢人口 (人)	22,089	20,391	17,783	15,497	13,699	12,390	11,347	10,005	3,760
高齢者人口 (人)	14,617	14,720	14,896	14,902	14,300	13,237	12,115	11,299	10,429
生産年齢人口割合 (%)	53.2	51.7	48.6	45.8	44.2	43.7	43.9	42.6	41.4
高齢化率 (%)	35.2	37.3	40.7	44.1	46.1	46.7	46.8	48.1	49.3
高齢化率 (大分県) (%)	24.2	26.5	30.2	33.3	34.8	35.6	36.4	38.1	39.3
高齢化率 (全国) (%)	20.1	22.8	26.3	28.9	30.0	31.2	32.8	35.3	36.8

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

※令和4年9月30日（住民基本台帳）

人口	33,615人
高齢者人口(65歳以上)	15,028人
後期高齢者人口(75歳以上)	8,729人
高齢化率	44.71%

豊後大野市の高齢化率の降順

	(2015年10月時点)	(2025年の推計値)	(2040年の推計値)
大分県内	3番目／18保険者	大分県内 6番目／18保険者	大分県内 5番目／18保険者
全 国	166番目／1,565保険者	全 国 222番目／1,512保険者	全 国 419番目／1,512保険者

## ※参考 竹田市

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
人口 (人)	26,534	24,423	22,332	20,346	18,358	16,469	14,743	13,092	11,520
15歳未満 (人)	2,767	2,289	2,051	7,880	1,649	1,458	1,280	1,118	980
15歳～40歳未満 (人)	4,894	4,275	3,863	3,065	2,630	2,264	1,997	1,797	1,641
40歳～65歳未満 (人)	8,786	7,860	6,652	5,595	4,776	4,250	3,893	3,390	2,850
65歳～75歳未満 (人)	4,708	3,807	3,849	4,003	3,449	2,709	2,045	1,844	1,869
75歳以上 (人)	5,372	6,147	6,088	5,803	5,854	5,788	5,528	4,943	4,180
生産年齢人口 (人)	13,680	12,135	10,335	8,660	7,406	6,514	5,890	5,187	4,491
高齢者人口 (人)	10,080	9,954	9,937	9,806	9,303	8,497	7,573	6,787	6,049
生産年齢人口割合 (%)	51.6	49.7	46.3	42.6	40.3	39.6	40.0	39.6	39.0
高齢化率 (%)	38.0	40.8	44.5	48.2	50.7	51.6	51.4	51.8	52.5

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

## 2. 大分県内の高齢者世帯等の状況

(単位：%)

	高齢独居世帯 の割合	高齢夫婦世帯 の割合	前期 高齢者割合	後期 高齢者割合	前期 高齢者割合	後期 高齢者割合
	平成27年(2015年)		平成27年(2015年)		令和2年(2020年)	
大分市	9.7	10.1	53.7	46.3	50.9	49.1
別府市	16.4	10.9	49.0	51.0	45.0	55.0
中津市	12.8	11.4	49.1	50.9	48.9	51.1
日田市	12.8	11.4	45.7	54.3	47.2	52.8
佐伯市	16.2	14.3	45.9	54.1	45.2	54.8
臼杵市	15.6	15.7	46.9	53.1	46.1	53.9
津久見市	17.6	16.6	46.8	53.2	46.3	53.7
竹田市	19.1	17.8	38.7	61.3	40.8	59.2
豊後高田市	17.7	14.9	43.0	57.0	44.8	55.2
杵築市	14.5	13.6	43.3	56.7	44.6	55.4
宇佐市	16.4	14.3	45.1	54.9	46.3	53.7
豊後大野市	17.5	16.9	40.5	59.5	42.6	57.4
由布市	12.1	12.7	45.0	55.0	45.5	54.5
国東市	16.3	16.8	41.1	58.9	42.7	57.3
姫島村	16.6	20.7	46.7	53.3	48.3	51.7
日出町	11.9	12.3	50.0	50.0	47.8	52.2
九重町	15.1	15.3	41.3	58.7	43.8	56.2
玖珠町	14.2	13.8	44.9	55.1	46.3	53.7
大分県平均	12.9	12.0	48.3	51.7	47.4	52.6
全国平均	11.1	9.8	51.8	48.2	48.3	51.7

※「高齢独居世帯の割合」、「高齢夫婦世帯の割合」は、いずれも総世帯数に対するもの。

(出典)総務省「国勢調査」

※「前期高齢者割合」は、65歳以上高齢者のうち65歳以上75歳未満の人の割合。

「後期高齢者割合」は、65歳以上高齢者のうち75歳以上の人の割合。

(出典)平成27年は総務省「国勢調査」、令和2年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

### 3. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査からみた高齢者の状況

#### ①調査の概要

##### 1. 調査の目的

日常生活圏域における高齢者の地域生活の課題を探り、それらの課題を踏まえた介護保険事業計画を策定するため、課題の抽出調査及びデータの分析を実施し、第8期介護保険事業計画の適切な策定に向けた基礎情報を得ること等を目的とする。

##### (1) 調査の設計

調査内容	国が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票」に基づき作成
調査地域	大分県豊後大野市
調査対象者	令和元年12月1日現在、在宅で生活する65歳以上高齢者 (要介護1～要介護5の認定者を除く)
抽出方法	無作為抽出
配布・回収方法	郵送による配布・回収
調査の期間	令和2年1月20日～令和2年2月17日

##### (2) 回収の結果

調査対象者	有効回収数	有効回収率
12,236人	8,780人	71.8%

##### (3) 報告書の見方

- 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示す。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記している。

## ②主な調査の内容

調査については、11項目全69問について選択回答してもらう形式で実施しました。

調査結果については「豊後大野市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書」(令和2年3月発行)としてまとめ、旧小学校区ごと(27地区)に詳細な分析も行っていますが、市全体としては次のような状況と課題が浮かび上がってきました。

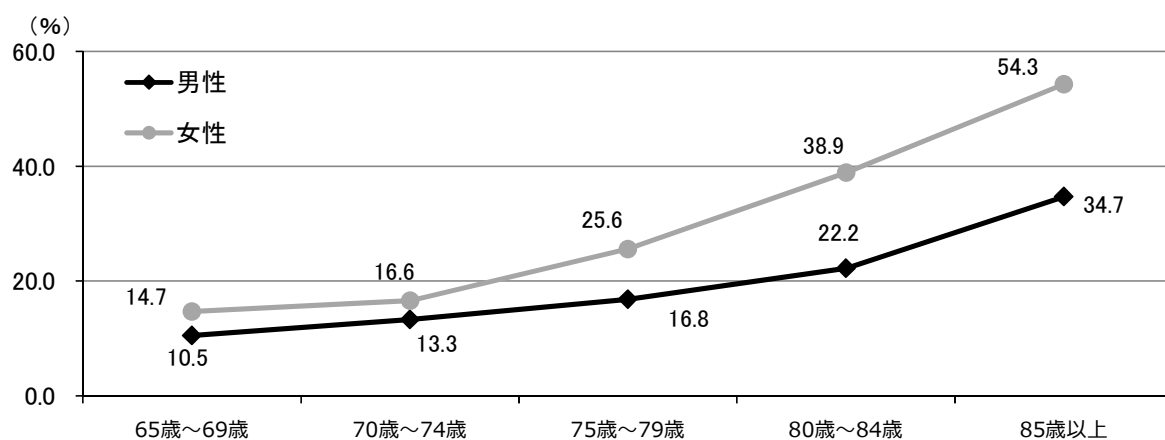
### (1)閉じこもりの予防

閉じこもりの状況をみると、外出頻度が週1回未満の高齢者は全体の24.2%で加齢に伴い増加しています。80歳以上の女性が特に多く、85歳以上の女性では半数が閉じこもりのリスク者となっています。

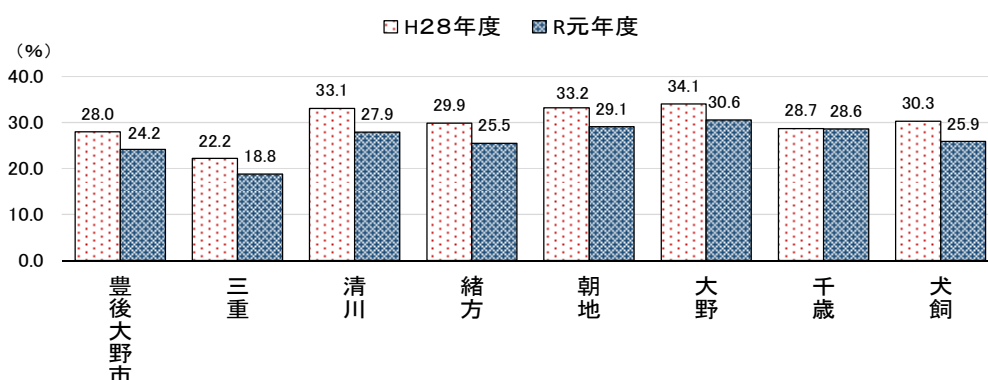
前回調査と比べると、閉じこもりリスクのある高齢者は全体で3.8ポイント低くなっており、各地区も低くなっています。

閉じこもりがちな生活が続くと筋力や食欲の低下が起こり、生活不活発病や認知症、うつ状態になりやすくなることから、家庭や地域における役割の創出、生きがいつくりへの支援、介護予防教室等への参加を促進することで、生活の活性化を図ることが重要となってきます。

性別・年齢別閉じこもりリスクのある高齢者



地区別閉じこもりリスクのある高齢者



## (2) 運動器機能リスクについて

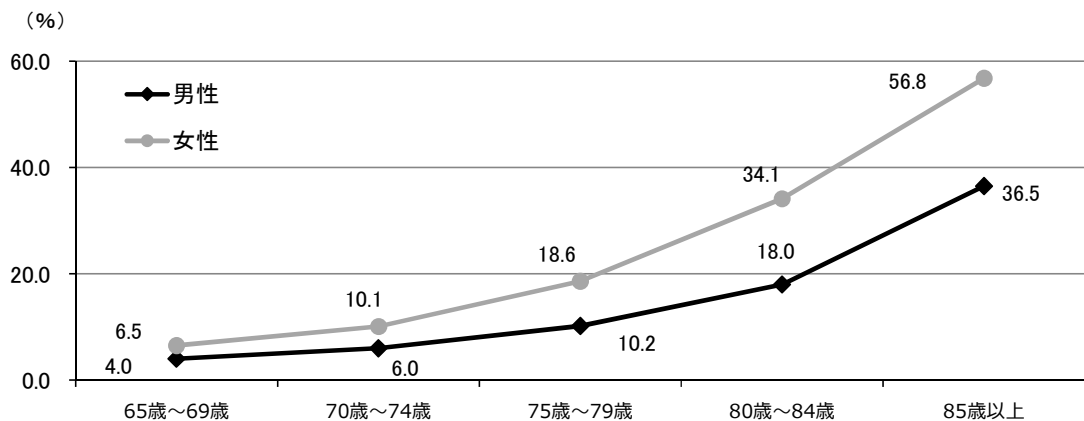
介護・介助が必要な高齢者は全体の6.2%となっており、主な原因疾患は「高齢による衰弱(16.0%)」、「骨折・転倒(12.9%)」、「心臓病(10.8%)」の順となっています。

運動器機能リスクの状況を見ると、どの年代も男性より女性のほうが高く、85歳以上では56.8%と半数を超えており、リスクが高くなっています。

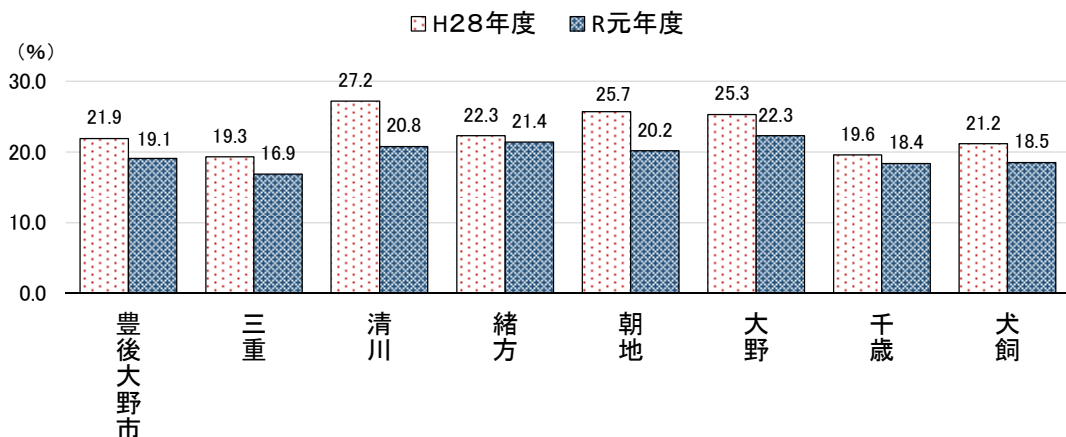
前回調査と比べると、運動器機能リスクのある高齢者は全体で2.8ポイント低くなっており、各地区も低くなっています。

運動器機能リスクが高くなると「外出」に影響し、社会参加の機会を減らすことにもつながってくるため、介護予防、運動習慣の定着が重要な課題と言えます。さらには、運動器機能が低下している人が参加しやすいよう、交通手段の確保や開催場所などにも検討が必要です。

性別・年齢別運動器機能リスクのある高齢者



地区別運動器機能リスクのある高齢者



### (3) 転倒予防に取り組むことができる環境づくり

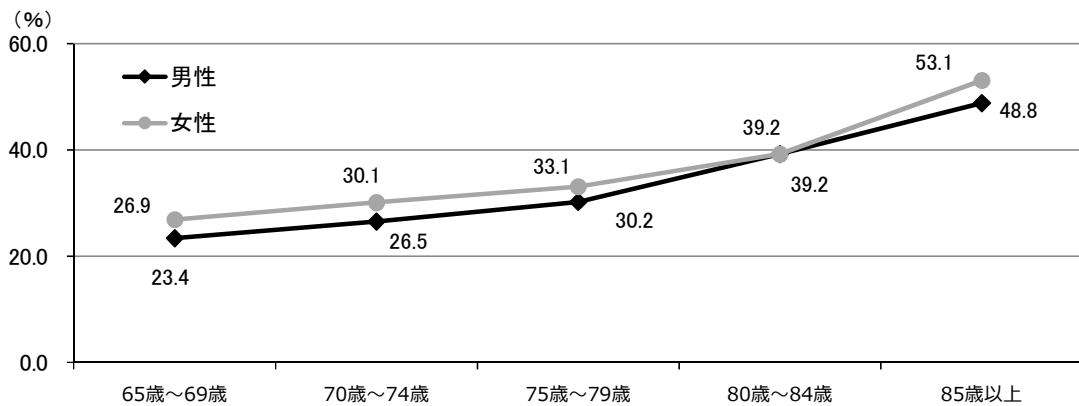
転倒リスクのある高齢者は全体の34.1%で加齢に伴い増加する傾向にあり、男女ともに85歳以上で4割を超えています。

前回調査と比べると、転倒リスクのある高齢者は全体で0.8ポイント低くなっていますが、地区によっては高くなっているところもあります。

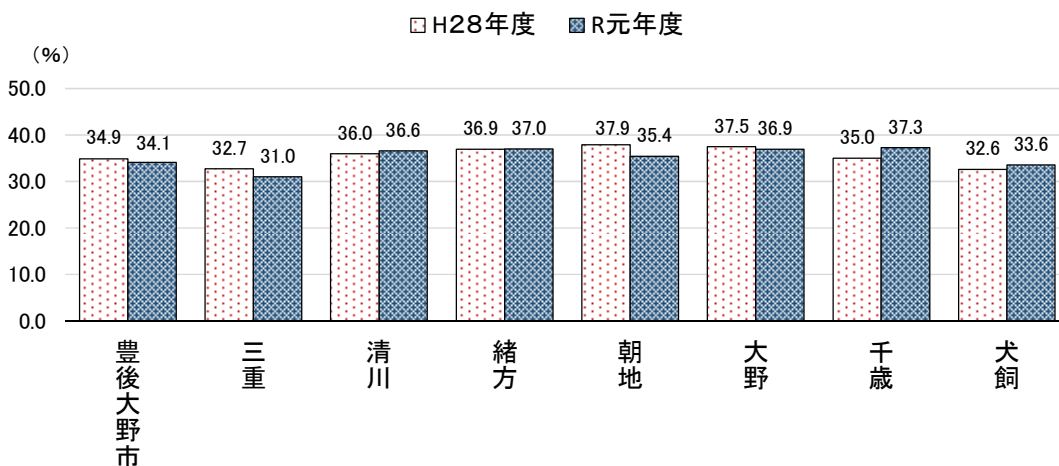
転倒リスクを増加させる要因としては、加齢に伴う筋力の低下や、バランスや歩行の障害、視力障害、認知障害などの内的要因と生活環境などの外的要因に分けられます。転倒予防に対しては若いうちからの運動習慣が大切ですが、リスクのある状態からでも筋力の維持・向上に取り組む、状態の改善を図ることが重要となります。

転倒・骨折により要介護状態となることを防ぐうえでも、転倒リスクのある高齢者に対しては効果的なアセスメントや介入による対策を検討していく必要があります。

性別・年齢別転倒リスクのある高齢者



地区別転倒リスクのある高齢者

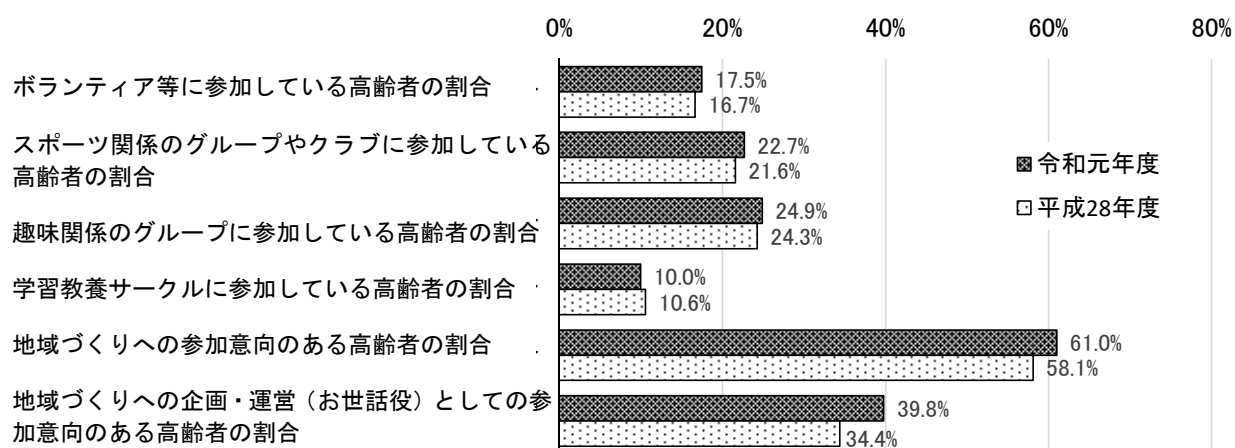


#### (4)地域の身近な場所における通いの場づくり

社会参加・地域交流について、各種グループへの参加状況を前回調査と比べると、「学習・教養サークル」以外は参加している割合が増えています。

地域では、自治会、町内会、ボランティア、各種団体等によって、地域の見守りや様々な活動が実施されています。運動器機能リスクや閉じこもりの予防等に関しては、地域の人と顔を合わせ、楽しみながら取り組める場づくりが重要となるため、地域づくりに参加したい人(61.0%)や企画運営に参加したい人(39.8%)等を巻き込み、住民が主体となって週1回以上、介護予防に取り組める場を増やしていくことが、まちづくり、地域づくりの視点からも重要な取組となります。

社会参加・地域交流の状況



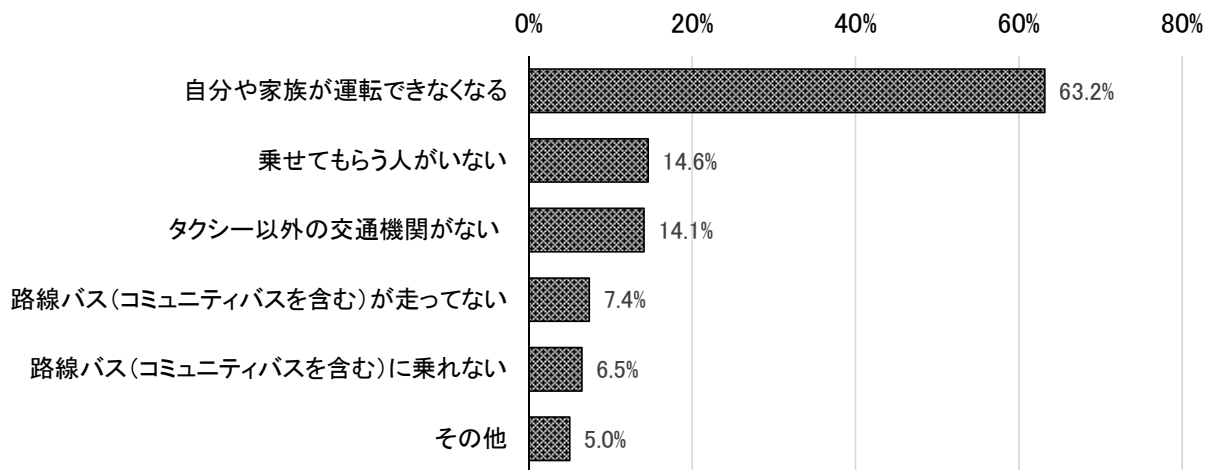


## (5) 移動支援の充実

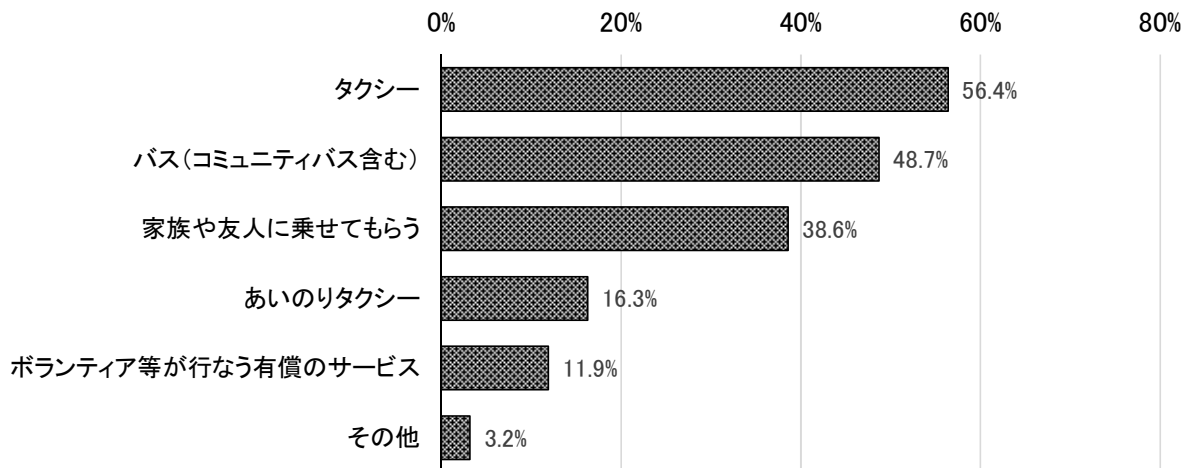
移動手段について、「現在または将来的に、移動手段について不安を感じることは何ですか」と尋ねたところ、「自分や家族が運転できなくなる」と答えた高齢者が最も多く63.2%となっています。また「現在または将来的に、自分や家族が運転ができなくなったとき、利用したい移動手段は何ですか」と尋ねたところ、「タクシー」56.4%、「バス(コミュニティバス含む)」48.7%でした。

将来の移動手段に不安を感じる高齢者が多いことから、個人の外出能力や中心市街地までの交通機関の利便性等支援策の充実が必要とされます。

移動手段として不安に感じること



利用したい移動手段



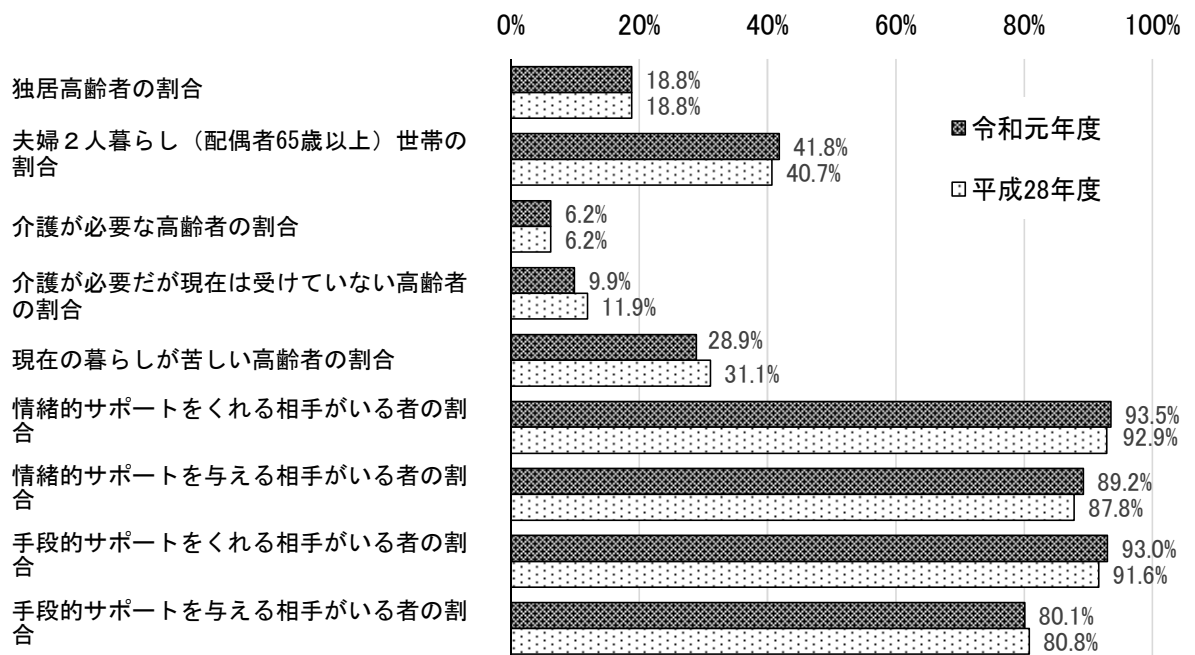
## (6)生活支援サービスの担い手づくり

世帯の状況は、18.8%が1人暮らし、41.8%が夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)で、約6割(60.6%)の人が高齢者のみの世帯となっています。

回答者の助け合いの状況は、「情緒的サポートをくれる相手がいる者」の割合は93.5%、「手段的サポートをくれる相手がいる者」の割合は93.0%と、サポートをくれる相手がいる人が9割を超え、「情緒的サポートを与える相手がいる者」「手段的サポートを与える相手がいる者」の割合も、それぞれ89.2%、80.1%と高く、回答者がサポートを受けるばかりではなく、サポートを与える側でもあることが伺えます。

前回調査と比べると、「手段的サポートを与える相手がいる者」の割合が0.9ポイント減少していますが、その他のサポートはいずれも増えています。

社会的サポートの状況

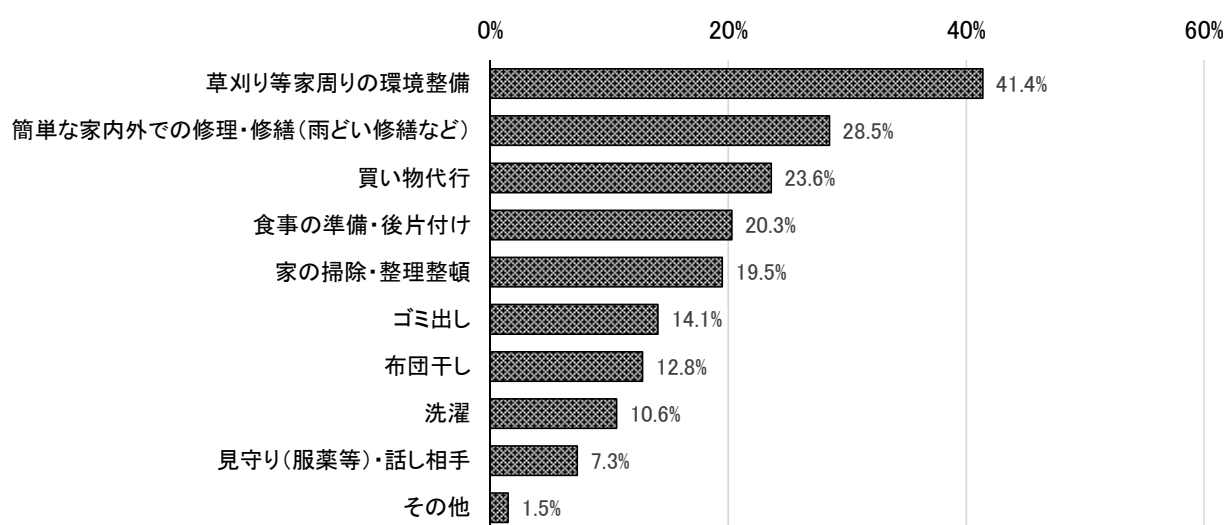


「現在または将来的に、手伝ってもらいたい『ちょっとした困りごと』は何ですか」と尋ねたところ、「草刈り等家周りの環境整備」41.4%、「簡単な家内外での修理・修繕(雨どい修繕など)」28.5%との回答が多く、生活の中でも住環境整備についてサポートが必要とされています。

「現在または将来的に、『少し不安に思っていること』は何ですか」と尋ねたところ、「身体的(病気等)のこと」40.8%、「身の回りのことができるか」39.8%との回答が多く、高齢者自身のことについての不安に思っている割合が高くなっています。

社会的サポートについては与える側も与えられる側も割合が高いものの、困りごとや、高齢者自身の不安等のことを考慮すると、高齢者同士の支え合いの仕組みづくりや新たなサービスの開発がこれまで以上に重要な課題です。

手伝ってもらいたい困りごと



## 4. 介護保険認定率の推移

### 豊後大野市

	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末時点	令和4年 11月末時点
認定者数 (人)	3,385	3,323	3,277	3,269	3,260	3,333	3,337	3,303	3,327
認定者数 (要支援1) (人)	431	415	358	346	370	351	321	308	295
認定者数 (要支援2) (人)	465	427	409	375	392	408	427	394	389
認定者数 (経過的要介護) (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定者数 (要介護1) (人)	640	692	726	750	795	811	837	828	849
認定者数 (要介護2) (人)	563	546	533	538	481	520	546	522	546
認定者数 (要介護3) (人)	448	471	465	437	415	422	435	436	450
認定者数 (要介護4) (人)	515	466	466	500	496	488	484	516	518
認定者数 (要介護5) (人)	323	306	320	323	311	333	287	299	280
認定率 (人)	22.5	21.9	21.5	21.5	21.5	22.0	22.2	22.1	22.4
認定率 (大分県) (人)	19.0	18.0	17.7	17.7	18.0	18.1	18.4	18.5	18.8
認定率 (全国) (人)	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.1

(出典) 平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和4年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

認定者に係る要介護3以上の率	38.0%	37.4%	38.2%	38.5%	37.5%	37.3%	36.1%	37.9%	37.5%
----------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

### ※参考 竹田市

	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末時点	令和4年 11月末時点
認定者数 (人)	2,147	2,041	1,905	1,852	1,862	1,899	1,943	1,932	1,958
認定者数 (要支援1) (人)	413	329	232	183	182	164	187	226	239
認定者数 (要支援2) (人)	341	279	256	227	243	275	262	257	258
認定者数 (経過的要介護) (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定者数 (要介護1) (人)	381	398	405	397	404	417	429	415	412
認定者数 (要介護2) (人)	339	360	338	384	352	372	366	316	295
認定者数 (要介護3) (人)	237	254	256	252	261	238	275	277	284
認定者数 (要介護4) (人)	268	243	225	219	237	253	248	262	293
認定者数 (要介護5) (人)	168	178	193	190	183	180	176	179	177
認定率 (%)	21.3	20.2	18.9	18.5	18.7	19.1	19.7	19.7	20.1

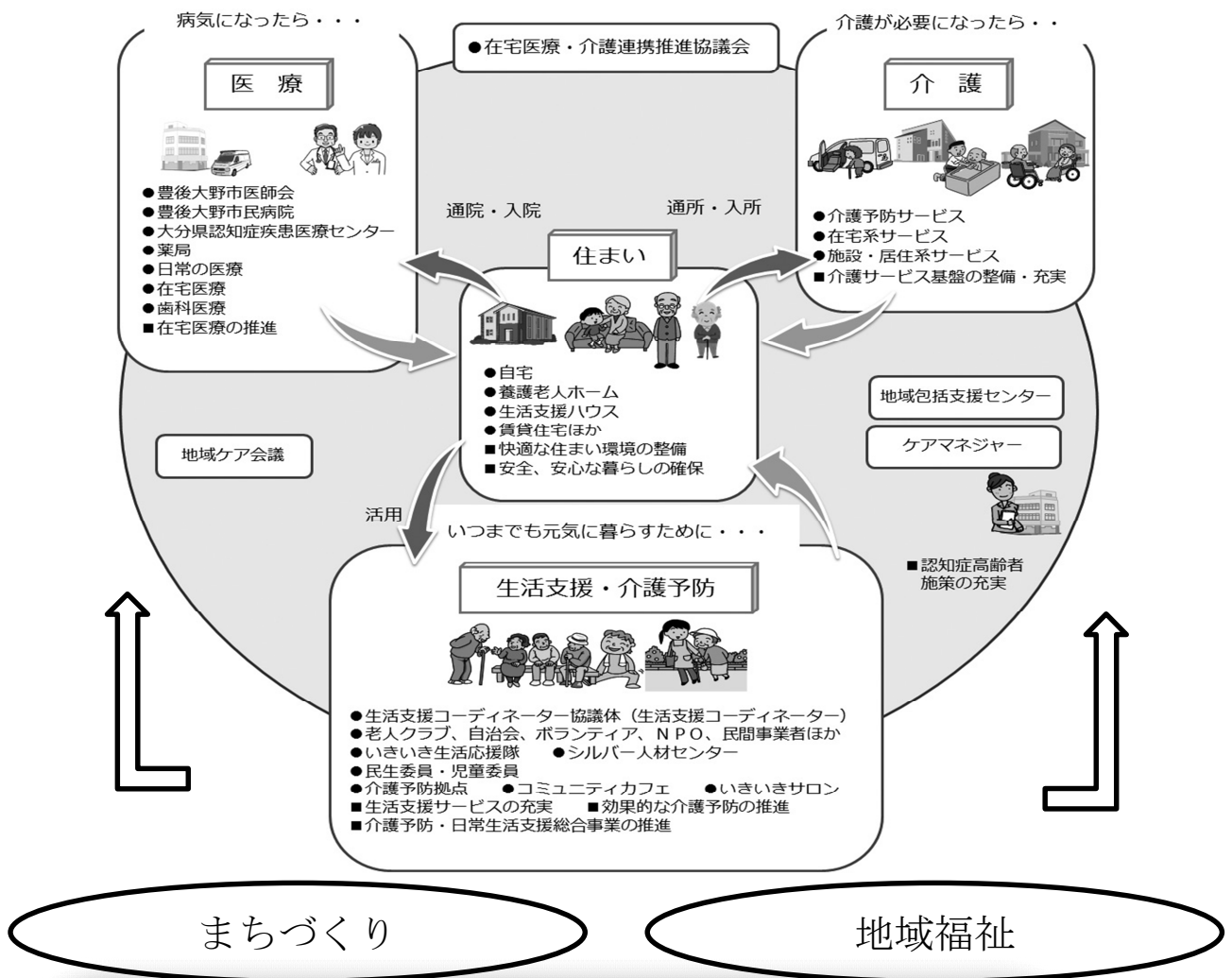
(出典) 平成26年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和4年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

認定者に係る要介護3以上の率	31.3%	33.1%	35.4%	35.7%	36.6%	35.3%	36.0%	37.2%	38.5%
----------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

## 5. 第8期介護保険事業計画の基本理念

第8期計画においても、第7期計画同様、「高齢者が住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を継続していくために、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される体制」、いわゆる地域包括ケアシステムの実現を目指し、本計画の基本理念を「人が人として尊厳を持ち、健康で生きがいを感じながら、地域で支え合い、認知症や要介護の状態になっても、安心して暮らすことができるまち」と定め、これに沿った基本目標を設定し各種事業・施策を進めていきます。

また、第8期計画では、この地域包括ケアシステムに加え、「まちづくり」や「地域福祉」の考え方を含め、地域共生社会の推進を行っていきます。

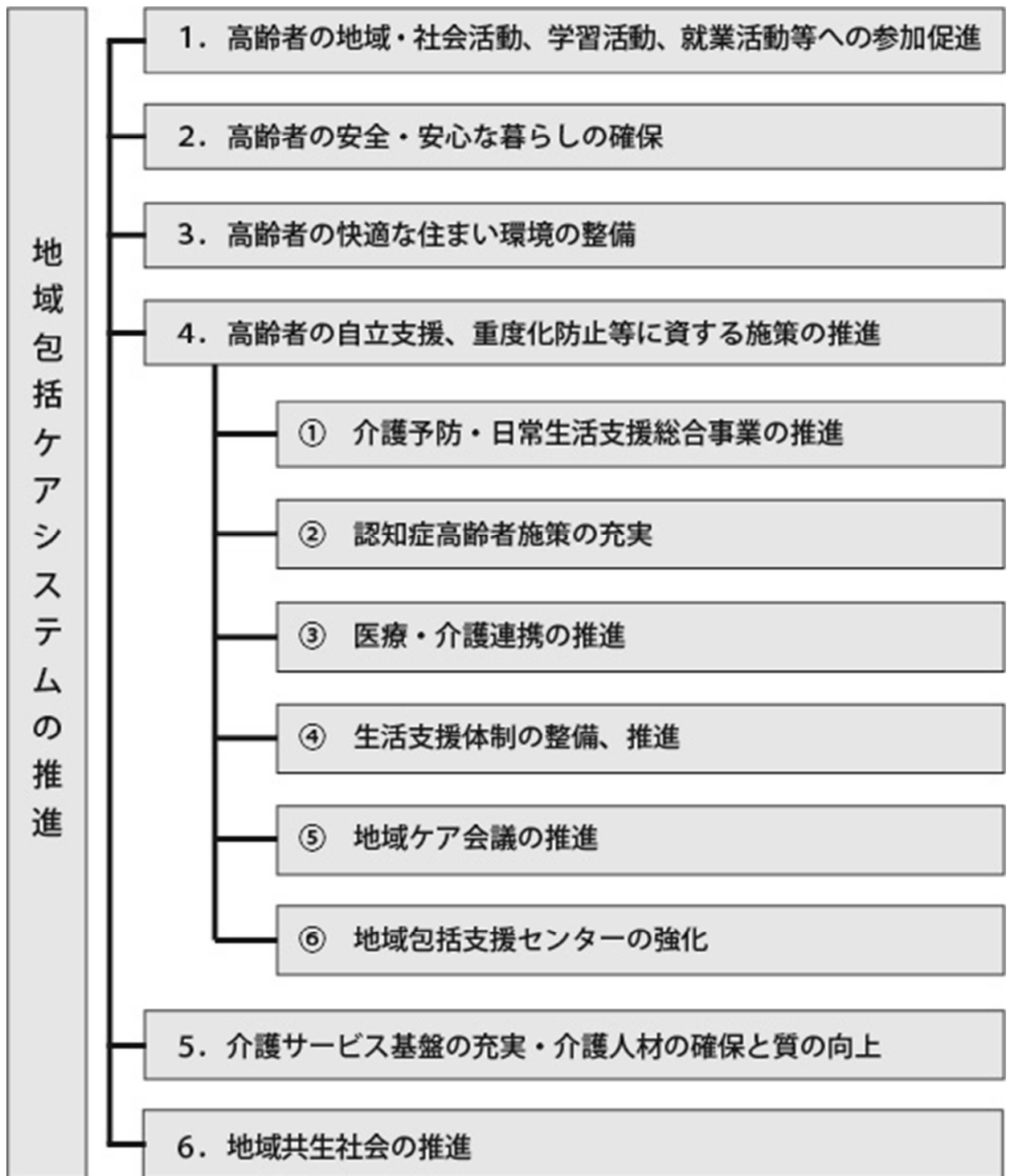


### 第8期計画 基本理念

「人が人として尊厳を持ち、健康で生きがいを感じながら、  
地域で支え合い、認知症や要介護の状態になっても、  
安心して暮らすことができるまちを目指しま

## 6. 第8期介護保険事業計画の全体目標と基本目標

基本理念を実現するために、計画の全体目標を「地域包括ケアシステムの推進」とし、その達成に向けた取組を6の基本目標として設定します。



## 7. 第8期における介護保険料

所得段階別の第1号被保険者数の見込みは以下のとおりとなります。

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第8期合計
第1段階	3,381	3,352	3,322	10,055
第2段階	1,761	1,747	1,731	5,239
第3段階	1,405	1,393	1,381	4,179
第4段階	1,800	1,785	1,770	5,355
第5段階	2,066	2,048	2,030	6,144
第6段階	2,204	2,185	2,166	6,555
第7段階	1,497	1,485	1,472	4,454
第8段階	487	483	479	1,449
第9段階	390	386	383	1,159
被保険者数合計	14,991	14,864	14,734	44,589
所得段階別加入割合補正後被保険者数(C)	13,735	13,619	13,500	40,855

所得段階別の月額・年額の介護保険料を次のように設定しました。

所得段階	対象者	保険料率	月額保険料	年額保険料
第1段階 ※	○生活保護受給者、老齢福祉年金の受給者で、世帯全員が住民税非課税の人 ○世帯全員が住民税非課税で、前年の公的年金等収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の人	0.30	1,875	22,500
第2段階 ※	世帯全員が住民税非課税で、前年の公的年金等収入額と合計所得金額の合計が80万円を超え120万円以下の人	0.50	3,125	37,500
第3段階 ※	世帯全員が住民税非課税で、前年の公的年金等収入額と合計所得金額の合計が120万円超の人	0.70	4,375	52,500
第4段階	世帯の誰かが住民税課税だが、本人は住民税非課税で、前年の公的年金等収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の人	0.90	5,625	67,500
第5段階	世帯の誰かが住民税課税だが、本人は住民税非課税で、前年の公的年金等収入額と合計所得金額の合計が80万円超の人	1.00	6,250	75,000
第6段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の人	1.20	7,500	90,000
第7段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の人	1.30	8,125	97,500
第8段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の人	1.50	9,375	112,500
第9段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が320万円以上の人	1.70	10,625	127,500

※第1～3段階については、別枠公費により軽減されています

## 8. 各指標における近隣市との比較表

地域包括ケア「見える化システム」による地域分析・検討結果シート

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	備考	データの値																								全国平均等 との比較	全国平均等との乖離 について理由・問題点 等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の 確認・検証方法	問題を解決するための 対応策(理想像)
				豊後大野市 (自保険者)			大分県平均			全国平均			比較地域 (竹田市)			比較地域 (佐伯市)			比較地域 (臼杵市)			比較地域 (大分市)									
				R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3							
認定率 (看護保険者を除く)	B4-a	%	見える化・時系列 (各年度年齢・R2のみR2.3月時点)	22.0	22.2	22.1	18.1	18.4	18.5	18.4	18.7	18.9	19.1	19.7	19.7	14.7	15.0	15.5	17.9	18.2	18.1	19.0	19.3	19.4	認定率は全国・県平均よりもかなり高いが、調整済み認定率は全国よりも低くなる。	高齢化率(R4.9月末、44.7%)の高さに加え、高齢者世帯(46.3%)や一人暮らし高齢者世帯(21.3%)の多さが介護支援による自立支援の必要性に結びついている。	高齢化率、高齢者世帯及び、一人暮らし高齢者世帯数の比較。	同居家族による支援が減っていく中、高齢者(65歳)となる前の健康づくりや体力づくりの強化が必要であるととくに予防事業等の重点化防止の取組を進める。			
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と比較) (各年度年齢・R2のみR2.3月時点)	16.7	17.0	17.1	16.7	17.1	17.3	18.4	18.7	18.9	14.2	14.6	14.8	12.8	13.1	13.7	15.9	16.1	16.1	19.8	20.1	20.3							
調整済み重度認定率 (要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較) (各年度年齢・R2のみR2.3月時点)	6.1	6.0	6.3	5.8	5.9	6.0	6.3	6.4	6.5	4.8	5.0	5.3	5.0	5.6	5.9	4.8	5.3	5.5	6.1	6.2	6.3							
調整済み軽度認定率 (要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と比較) (各年度年齢・R2のみR2.3月時点)	10.6	11.0	10.8	11.0	11.2	11.3	12.1	12.3	12.4	9.4	9.6	9.5	7.7	7.5	7.7	11.1	10.8	10.7	13.7	13.9	14.0							
				R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4							
受給率 (施設サービス)	D2	%	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	4.5	4.5	4.6	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	4.5	4.7	4.7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	1.9	1.9	1.8	全国・県平均よりもかなり高い。	認定率が高いため、受給率についても高くなっている。特に施設サービスについては全国平均値を大きく上回る。	施設整備率の比較、重度化率の検証。	介護認定申請に至る以前の健康づくり、体力づくりをさらに進める施策の必要性、及び重度化防止に関する施策を推進する。			
受給率 (居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	1.5	1.4	1.5	1.0	1.0	1.1	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	1.0	1.3	1.4	1.4	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8							
受給率 (在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	12.9	13.0	13.1	10.7	11.0	11.2	9.9	10.2	10.3	9.6	10.0	10.0	8.5	9.0	9.2	10.7	11.2	11.3	11.8	12.1	12.4							
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	132,241	132,095	131,100	130,011	132,095	132,078	129,423	130,298	130,787	110,376	109,758	113,277	157,556	158,193	157,027	120,474	121,418	119,880	135,786	134,077	133,175	主要なサービスの中で、通所リハ・短期入所生活介護、及び認知症対応型共同生活介護については全国平均値であるが、それ以外のサービスは全国に比べて数値が高い。	全国平均に対して月額・日数ともに概ね高い状態にある。自立支援の初げとなるようなサービスの提供がないか確認の必要がある。	ケアプラン点検を行う。また、事業者やケアマネージャーを対象とした研修を行い現状把握を行う。	自立支援・重度化に資する適切なケアプランへのチェック。			
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	121,242	121,052	119,864	125,492	124,498	124,245	118,281	119,151	119,458	99,838	99,354	102,881	148,708	148,698	147,030	111,923	113,333	111,250	130,213	128,201	127,184							
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	84,807	83,099	85,797	74,556	75,396	75,897	73,426	75,246	76,809	51,206	53,875	57,883	132,753	135,232	135,781	68,056	67,081	62,823	73,740	75,439	76,702							
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	30.4	29.7	30.8	26.9	27.0	27.2	25.1	25.6	26.3	19.1	20.0	21.1	46.4	47.0	47.0	24.8	23.6	22.0	27.0	27.5	28.0							
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	117,578	118,595	117,498	114,953	112,345	112,698	85,006	84,960	84,533	104,982	110,485	120,175	99,257	97,545	96,719	91,405	91,808	89,378	124,307	120,500	121,153							
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	15.8	16.1	15.8	15.4	15.2	15.2	10.9	11.0	10.9	14.7	15.2	16.4	15.1	14.7	14.5	12.9	12.8	12.4	16.5	16.2	16.3							
受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	D17-t	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	84,283	87,829	88,182	93,314	92,836	94,286	77,098	76,705	76,200	70,936	67,443	66,157	90,936	90,986	88,482	94,587	93,586	94,046	103,351	98,619	98,667							
受給者1人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)	D31-j	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	10.2	10.4	10.5	11.7	11.5	11.7	9.7	9.7	9.6	9.1	8.6	8.2	11.8	11.6	11.3	11.9	11.7	11.9	12.9	12.2	12.2							
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)	D17-o	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	143,561	157,493	165,404	120,626	117,408	115,173	118,031	117,876	117,691	51,268	51,944	65,532	93,693	87,897	89,507	179,021	129,991	—	128,868	125,346	126,524							
受給者1人あたり利用日数・回数(認知症対応型通所介護)	D31-i	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	13.8	15.0	16.0	12.0	11.8	11.6	10.8	10.9	10.9	9.2	9.2	10.6	9.8	9.1	9.3	19.0	14.6	—	12.8	12.6	12.9							
受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	D17-g	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	52,280	53,700	53,315	57,454	57,908	57,217	59,317	59,650	59,051	50,937	50,233	50,637	56,309	57,545	56,187	50,506	49,850	49,495	58,071	57,997	56,515							
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハ)	D31-f	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	5.4	5.6	5.6	5.8	5.9	5.8	5.9	5.9	5.8	4.2	4.1	4.0	5.5	5.6	5.5	4.8	4.6	40.0	6.1	6.1	5.9							
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	96,001	96,084	87,481	99,273	99,554	98,436	108,510	109,769	109,517	100,855	104,323	102,486	126,105	125,295	124,408	92,427	84,280	88,010	83,215	83,787	82,040							
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	12.0	11.8	10.9	12.6	12.4	12.3	12.9	12.9	12.8	13.5	13.6	13.4	16.4	15.9	15.5	12.0	10.8	11.2	10.1	9.9	9.7							
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列 (各年度3月時点、R3のみ最新月時点)	247,001	250,464	249,587	247,133	249,622	248,415	256,463	258,749	260,942	242,592	238,524	244,027	244,005	249,114	248,142	248,804	249,826	252,404	252,598	254,582	256,674							